



（注意） 出荷時は切り替えスイッチがノーナルROM側になっています

ノーナルROM側の場合は今までの純正仕様ですので何も変わりません  
 スポーツROMの御使用に関しましては100%自己責任でお願い致します  
 このECUを使用して起こる如何なる不具合やあらゆる事故その他の責務は  
 一切負いませんので御了承下さい。（公道での使用は絶対しないで下さい）

スポーツROM側に切り替える時は電源（バッテリー）マイナス端子を外して  
 1分程リセットしてから御使い下さい（トランク内の7.5Aヒューズ外しでも可）  
 走行シーンが大きく変わる場合も、その都度リセットをすると良いでしょう。  
 このスポーツROMは大入しく走れば燃費も20km/L位は難くありません。  
**スポーツROM使用時にはガソリンは必ず燃え難いハイオクを使用して下さい**  
 燃え易いレギュラーガソリンでは最悪条件時エンジンブローの恐れもあります  
 点火時期を変更したり燃調その他を変更するとノッキングが発生し易くなります  
 点火プラグも標準の熱価6番に対して7～8番に交換して様子を見て下さい  
 実際は少し走ったらプラグを外して焼け具合を見て大凡の判断をして下さい  
 キツネ色が理想的で真っ白になり過ぎている場合は焼け過ぎで危険です  
 この場合はプラグの番数を大きい数字の物に交換して再度確認して下さい  
 エアークラターは出来る限り純正品乾式の新品物に交換して下さい。  
 レブリミットとスピードリミットは解除して有りますので出るだけ仕様となります  
 ドノーナルエンジンのままでは実際に9000～9200rpm程度しか回りません。  
 ノーナルエンジンでも腕の良い整備士がOHすると10000rpmを超えますので  
 自由に御使用して頂く為に全て自己責任で管理して頂く様にしております。  
 9000rpmを超えますと著しく金属は磨耗しますので十分に油膜の切れのない  
 良質のオイルと冷却装置等を付けて温度管理は怠らない様にして下さい。  
 私のレーシングピートはこのROMで10000rpmは軽く回っています。  
 もちろん660cc純正ピストン・純正カム・純正バルブスプリングでの話です。  
 秘密技術で組むと純正ピストンでも10000rpm～は軽く回っています。  
 ステッピング式の社外メーターでないだと純正メーターでは誤差が大きくて  
 信頼性に欠けます。（10000rpm付近では500rpm前後多めに表示する）

170km近く出でしまいますので大変危険です。最高速などはクロースの  
 サーキットなどでそれなりの装備をしてから思いっきり楽しんで下さい

一応注意事項なので恐れのある事は神経質な位大きめに書いてあります。  
 自己責任で処理の出来ない方は御使用を控えて頂きます様お願いします。